




プログラムを作成するにあたって

★以下のことについて配慮・考慮ください。

☆ まずは、Why(どんなねらいで)

「何の活動をする」の前に「何のために」やるのかを考えてください。

☆ 次に、日程全体のプログラムを組み立てるときに5W2Hについて考えてください。

When (いつ) ○季節は (季節ならではの特征) ○日程(日帰り、泊)	Who (だれが) ○中心となる人 ○関われるメンバー、人数	Where (どこで) ○室内、室外(雨天時は) ○フィールド(調査・下見)
What (何をするのか) ○概要 (研修? 集団生活体験? 自然体験? 社会体験? 人間関係作り? ゆとりは?)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ゆとりをもった プログラム計画を してください</p>  </div>	Whom (誰を対象に) ○活動者年齢 (発達段階に合っているか) ○人数は
How (どんな方法で) ○活動は ○実施方法は ○安全面は		How much (経費は) ○必要経費の算出 ○参加者負担費用は

☆ さらに

※雨が降った場合の予備プログラムも計画に入れてください。

(小雨決行では 自然の厳しさを体験することにつながります)

※最終日には、「活動を振り返る時間」を設けてください。

(意欲的な学校生活への動機づけになります)

<参考> 目的を達成するためのプログラムの構成(全体の流れ)

導 入 ↓ ↓	○緊張をほぐし、興味関心を引き起こし、意欲を高める ・オリエンテーション ・アイスブレイク(氷がとけるように心の緊張を和らげる活動)
展 開 (メイン・サブ・夜・荒天時) ↓ ↓	○目的達成のために、中心となる活動、テーマとなる活動 ・伝えたいこと・感じてほしいことがねらいとされている活動 ・体験させたい活動(自然体験、社会体験、ボランティア体験etc)
ふりかえり	○感想や思いを仲間と分かち合う ・シェアリング(個人の体験を皆に広め、心に刻み込む・共有する)

なお、「活動資料集」はそれぞれの活動の概要を載せています。詳しい内容については、
立山青少年自然の家ホームページ(<http://tateyama.niye.go.jp/>)をご覧ください。

ご不明な点がありましたらまで気軽にお問い合わせください。